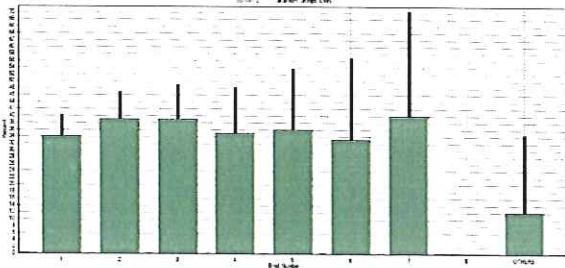


マネージメント情報

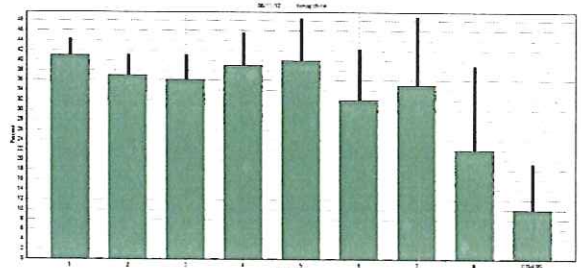
※ 授精回数と受胎率

先日ある農場で、「何度も授精する牛はとまらないのかなあ〜」「DIM が何日になったら諦めた方が
良いのか?」という質問があり、授精回数ごとの受胎率を調べてみました。

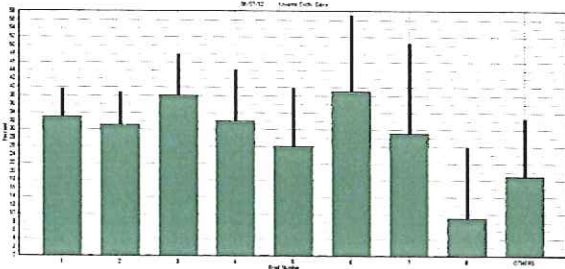
A 農場 (妊娠率 20%)



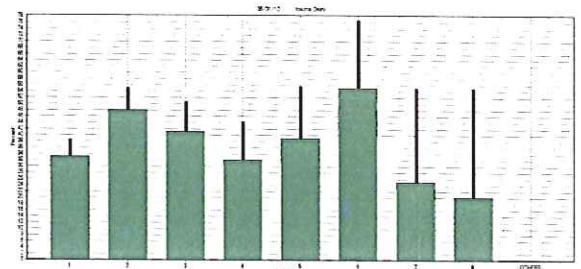
B 農場 (妊娠率 22%)



C 農場 (妊娠率 19%)



D 農場 (妊娠率 15%)



農場によってその時その時で様々な条件、変動要因があるかと思いますが、結論からいいます
と繁殖の良い農場、悪い農場ともに授精回数と受胎率はあまり関係ないということになりました。
やはり繁殖管理の基本は発情発見と授精をするという事、その月に何頭分娩するかという事にな
るのでと思います。

繁殖を中止しなければならない理由が無ければ諦めずに授精しましょう。

- ・ なかなか暖かくなりませんね。さすがに一番草はまだどこも始まっていないようです。
と昨日書いたのですが、今朝(6/19)検診の帰りに草を積んだダンプとすれ違いました。
当たり前ですが、調整した草の成分は刈り取った青草よりも低下します。良い発酵品質
のサイレージができるように、それから作業事故のないようにみなさん気を付けて意事
に収穫を終えて下さい。因みに今年のカッコウの初鳴きは6/5に浜中で聞きました。
- ・ THMS マラソン部、奥獣医師が今月6/24に行われるサロマ湖100km マラソンに参加しま
す。佐竹に続き完走できるか…。菅原、佐谷の両獣医師は7/8のなかしべつ330° 開陽
台マラソンに参加します。それぞれに忙しい仕事の合間を縫って休みの日に練習してい
るようです。若いって羨ましいですね。
- ・ 来月7/10-12に東京でわれわれが使っている牛群管理ソフト、DC305 セミナーを行って
きます。アメリカから Dr. Connor Jameson を招聘し、今まで以上に使いこなせるよう
に勉強してきます。